

エイト印刷株式会社



代表取締役社長 兼田 博光氏

エイト印刷株式会社は、1963年創業。“色へのこだわりと品質第一”をモットーに、お客様の求める色と質感を忠実に印刷で再現する技術を追求し続けている。その品質は“エイトブランド”として、お客様から高い支持を得ている。さらに、新たな価値として“品質保証”を掲げ、お客様に安心感を提供できる印刷を開始している。

昨年11月、同社は品質保証の実現のために、H-UV(ハイブリッドUVシステム)とPQA-S(印刷品質検査装置)を搭載したリスロンS40(菊全判5色機)を導入した。今回は主にH-UVとPQA-Sの導入効果について、兼田社長、常盤台工場の飯田良孝工場長、高橋功利印刷課技術主任にお話をお聞きした。

H-UV、PQA-S搭載リスロンS40導入。 100%品質保証の安心感で、 お客様に感動を与える印刷を追求。

本社／東京都文京区小石川5-3-2

TEL／03-3814-8131

常盤台工場／東京都板橋区前野町6-4-7 TEL／03-3967-6781



エイト印刷株式会社 常盤台工場

新たな価値となる“品質保証”

エイト印刷(株)は、3年前から「無限大の感動を」をテーマに掲げ、色に関する品質に重きを置いた製品づくりを展開している。

兼田社長は、「お客様にいいものを、求められるもの、喜んでもらえるものを提供するのが一番の理念です。最終的に感動を与えることができるものを提供することを目指しています。そのためには、お客様に安心感を与えることができる品質保証を確立する必要があります」と語り、新たな価値として“品質保証”を同社のブランド力に加えている。

速乾性のH-UVとCCDカメラで品質チェックするPQA-Sを搭載したリスロンS40の導入は、品質保証を実現する一環として位置づけられている。

兼田社長は、「H-UVの速乾性プラスPQA-Sの品質検査、それが相まって品質保証ができています。どちらか片方だと完全な品質保証はできません」と断言する。

お客様の信頼を高める品質保証

兼田社長に、まずPQA-Sによる品質検査の効果についてお聞きした。

「従来の品質保証はオペレータの経験と勤による目視による検査でした。品質保証には人プラス機械の力が必要です。色の変化やゴミ付き、ピンホールなどの不良紙をインラインでチェックするPQA-S搭載のリスロンS40を入れてからは、カメラと人の目によるダブルチェックで、100%の品質保証ができるようになりました。」

PQA-Sは、印刷後の状態をCCDカメラにより1枚ずつOKデータと照合しながらチェックし、不良紙が検知されるとモニターに表示されるとともに、デリバリー部でテープが挿入されるようになっている。オペレータは不良紙を確実に排除することができ、また、印刷機の不具合にも直ぐに適切な処置を施すことができる。ヤレ紙の減

少やオペレータの作業軽減にも大いに貢献しているという。

「お客様にとって印刷物に事故はあってはならないものですが、万が一起きた時に、PQA-Sは不良紙の枚数や範囲、時間がきちんと解るようになっています。そのトレーサビリティ(追跡)の結果をお客様に報告すると、事故の少なさや正確さに安心してもらえて、ミスのなさに感動さえ与えられるようになっています」と、兼田社長はお客様の信頼がより高まったと語る。

なお、導入以来、品質保証に関するお客様からのクレームはないという。

H-UV、PQA-S搭載機は、トラブルがなく作業効率に威力発揮

同社はUV機の導入は初めてであり、枚葉機2台を1台のH-UV搭載リスロンS40に更新している。

兼田社長は、「油性と同じものが刷れるのが一番の不安でしたが、ツヤに関して油性と遜色はありません。本機校正を行っていますが、FMスクリーンや高精細印刷を含めて、当社のワークフローやカラーマネジメントの仕組みに乗せれば違和感なく印刷できます。そして、印刷トラブルの要因の多くを排除できる印刷機ですし、時間が有効に使える印刷機です」と語る。

飯田工場長に、H-UVに関する導入効果やメリットについて伺った。

◆色の品質が印刷時に確定できる

速乾性で、ドライ
飯田良孝常盤台工場工場長様
ダウンが発生せず、印刷直後の色＝納品時の色として品質を確定できる。また、色については既存の油性機とマッチングが取れる。

◆発色の良い金・銀、インキ量も削減5色機なので、金・銀や特色も使用。金・銀は発色が良くて、止めニスをしなくて済む。見るからに金のような印刷ができるなど、優れた速乾性で仕事

の幅に広がりができています。また、H-UVは油性と同じ絵柄を印刷しても、インキ使用量が少なくて済む。

◆多様な印刷トラブルを解消

作業軽減で生産性が2～3割アップ
速乾性により、紙面にキズやコスレ、裏付きが発生することなく、用紙が棒積みできる。また、パウダーレスにより、粉ボタ・粉落とし・機械の粉残りなどによるトラブルが発生しない。これらにより、全体的に作業効率が向上し生産性が2～3割アップしている。

◆PQA-SはH-UV機にこそ必要

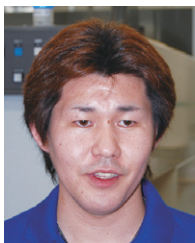
例えば、油性のパウダーは検査した後のデリバリーで吹くので、検査の意味がない。PQA-SはパウダーレスのH-UV機だからこそ意味がある。

◆短納期対応・小ロットに威力を発揮
乾きにくいマット系・上質系・特殊紙は優先的にH-UVで印刷。速乾で即座に裏面印刷や後加工ができ、飛び込みや短納期の仕事にも対応できる。また、小ロットほど切替えに威力を発揮し、フレキシブルに対応できる。

高橋技術主任は、機長の視点から下記のメリットを追加された。

◆オペレータ、お客様、取引先も安心

ドライダウンを考えなくていい分、色を原稿と合わせるだけなので調子出し



高橋功利印刷課技術主任様

の時間が早く、確認後そのまま本刷りに入れる。印刷立会いでもほとんど一発でOK。オペレータもお客様もとても楽になっている。また、速乾パウダーレスは後工程や取引先も安心して作業ができ、非常に喜ばれている。

◆品質重視、不良紙は外に出ない

0.5mm位のゴミやピンホールが付いてもPQA-Sが検出するので、オペレータは色や見当合わせに安心して集中できる。不良紙は工場内で省いてしまうので、お客様に自信を持って納品できる。

エイトブランドの信頼度アップ

同社では、H-UV導入後の第1ステージとして、FMスクリーンや高精細印刷、金・銀・特色の印刷までを完了している。現在は第2ステージとして、お客様のブランド形成に重要な仕事となるフィルム系やトレーシングペーパー、厚紙など様々な原反への印刷にチャレンジを開始している。

「これからは色品質と品質検知を確かなものにするH-UVとPQA-S搭載機がスタンダードになると思っています。“品質と安心感”を重視するお客様からは、この印刷機を指定されることが多くなっています。営業マンも身近な機械ということで提案できるようになっています」と語る兼田社長は、お客様の“感動”を常に追い求め続け、エイトブランドの信頼度アップを目指している。



品質保証を実現するPQA-Sを搭載したH-UV搭載リスロンS40(菊全判5色機)